

江戸前勉強会2022

第1回「東京湾再生のための行動計画(第3期)の骨子について」

2022年11月11日 19:00 - 20:30



Youtube
東京湾再生
ハゼ博士



Webサイト
coastcard.jp

6回シリーズ

ご参加のみなさまへ

- Zoomでの開催に並行して、YouTubeでの公開をいたします
- 勉強会の内容を録画し、後日公開させていただきます
- ご発表、ご発言については、個人の立場でお願いします（所属機関の見解といたしません）
- 本勉強会の成果を他で引用する場合には、発表者が特定されない形としてください（チャタムハウス・ルール）
- 楽しく、未来の東京湾のために議論いたしましょう
- 発言の時以外はミュートでお願いします。

まもなく始まります。

江戸前勉強会2022



はじまりました！

ご参加のみなさまへ

- Zoomでの開催に並行して、YouTubeでの公開をいたします
- 勉強会の内容を録画し、後日公開させていただきます
- ご発表、ご発言については、個人の立場でお願いします（所属機関の見解といたしません）
- 本勉強会の成果を他で引用する場合には、発表者が特定されない形としてください（チャタムハウス・ルール）
- 楽しく、未来の東京湾のために議論いたしましょう
- 発言の時以外はミュートでお願いします。

江戸前勉強会2022

はじまりました！



共催(予定を含む):

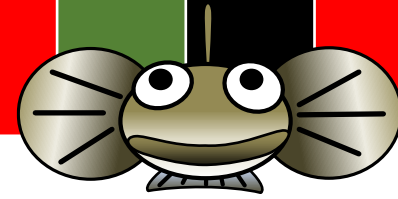
東京湾再生官民連携フォーラム(モニタリングPT、窓PT、江戸前PT、生き物の生息場づくりPT他)

東京湾の環境をよくするために行動する会、
東京海洋大学江戸前ESD協議会、
東邦大学東京湾生態系研究センター、
ベルmontフォーラムCOAST Cardプロジェクト

協力:

東京湾再生推進会議モニタリング分科会

第1回



江戸前勉強会2022

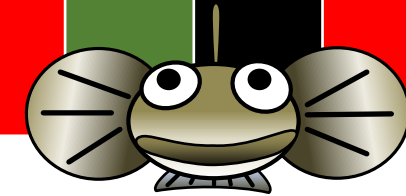
- はじめに
 - 「勉強会2021のふいかえいと江戸前勉強会2022のねらい」 (古川恵太)
- 話題提供
 - 「東京湾再生のための行動計画(第3期)の骨子について」
(福本峻吾さん、東京湾再生推進会議モニタリング分科会ご担当)
- 意見交換
- おわりに

第1回



江戸前勉強会2022

- はじめに
 - 「勉強会2021のふいかえいと江戸前勉強会2022のねらい」 (古川恵太)
- 話題提供
 - 「東京湾再生のための行動計画(第3期)の骨子について」
(福本峻吾さん、東京湾再生推進会議モニタリング分科会ご担当)
- 意見交換
- おわりに



江戸前勉強会2021(10/7-12/16)のふいかえり

- (第1回)東京湾の現状認識と期待
- (第2回)東京湾再生の目的とプロジェクト「保全と開発のバランス」を保つために
- (第3回)関係者と参加の機会創出のために(だれが、なにを)?
- (第4回)東京湾について知っておきべきこと(活動、環境、生物、地形・歴史)
- (第5-6回)東京湾再生のためのつながりの発見!(具体のアクションプラン)



Webサイト
coastcard.jp

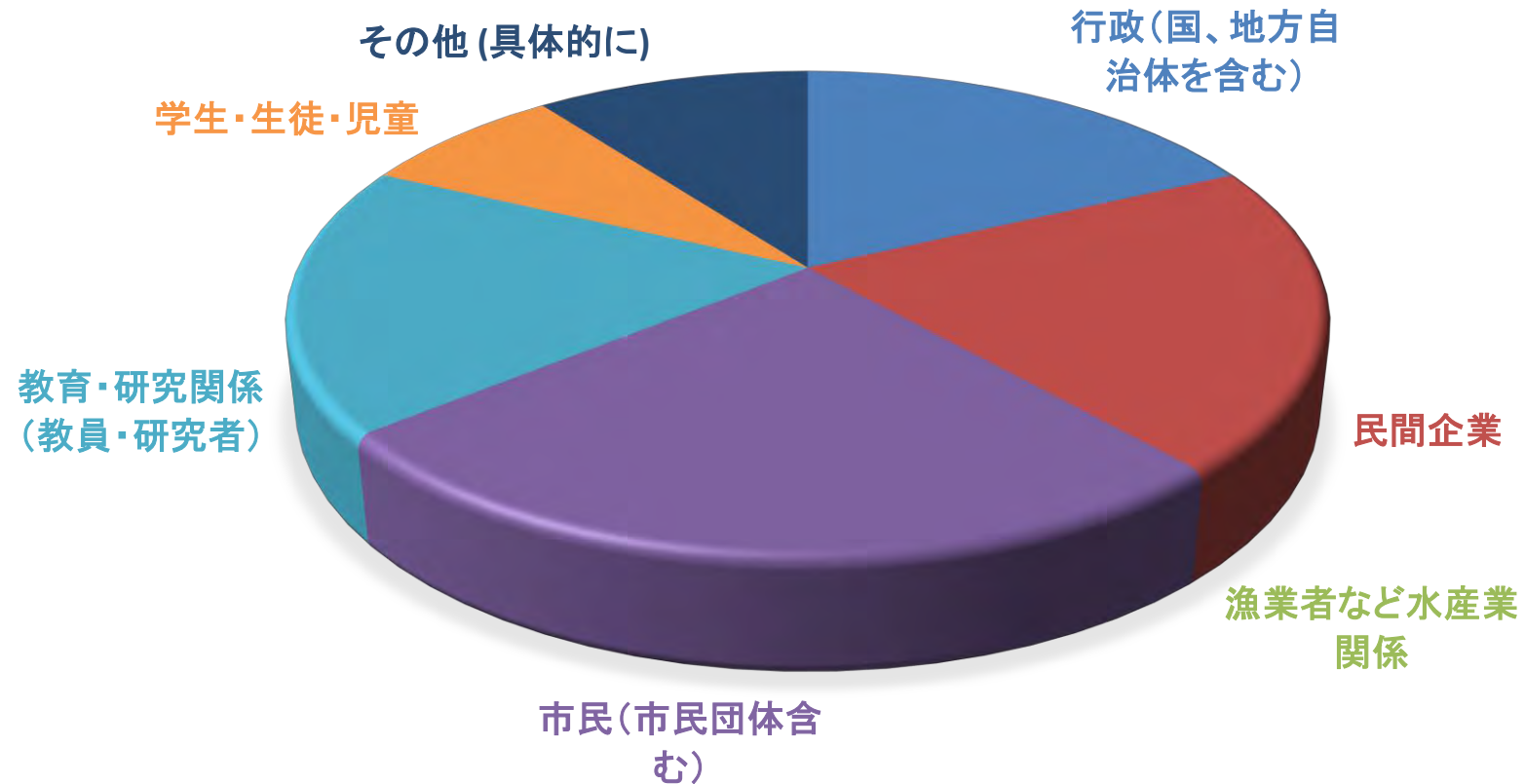
勉強会の目標

- 目標を定め行動につなげる
 - 大きな再生目標(ビジョン)の再確認 → 行動の具体化
 - 行動する主体となる、幅広い関係者(ステークホルダー)のネットワークの強化

江戸前勉強会2021 ふりかえり

参加者について

ご自身のご所属を教えてください



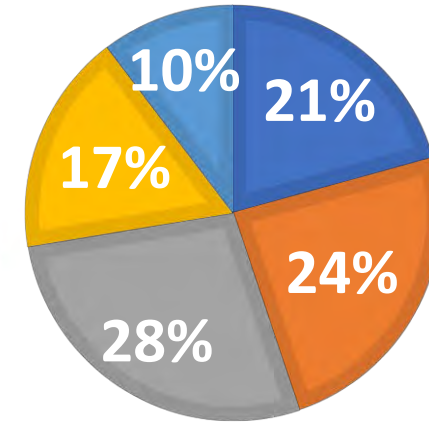
江戸前勉強会への登録状況(2021.11.20現在:登録者71名)

江戸前勉強会2021 第1回のふりかえり

どんな東京湾にしたいですか？

望ましい東京湾

■ 活動 ■ 環境 ■ 生活 ■ 生産 ■ 生物



豊かな海（青い海、生きもの賑わう海）
 食べ物採れる
 美味しい、安心して食べられる魚介類が採れる海
 貧酸素水塊のない東京湾 身近な東京湾 簡単にアクセスできる東京湾
 楽しい 青潮、赤潮の起きない東京湾
 みんなが集まる
 お金を使わなくとも憩える海岸
遊べる東京湾
 命にぎやかな東京湾 身近な
 みんなの好きな
 人と海の距離が近い東京湾
 海底が見える 泳げる
 海底が見える海
 美しいではなく、豊かな東京湾 基礎情報が共有できる東京湾
 過去の情報が豊かな東京湾

生命あふれる
 生物の豊かな
 社会と自然が共存できる
 儲かる
 酸素がいっぱいな東京湾
 多様性を生かせる
 持続する
 自慢できる東京湾
 水に触れる東京湾

「保全と開発のバランス」の目標と実現するための手段！

自然の豊かさ

心の豊かさ

社会・経済の
豊かさ

保全 > 開発

保全と開発のバランス

保全 < 開発

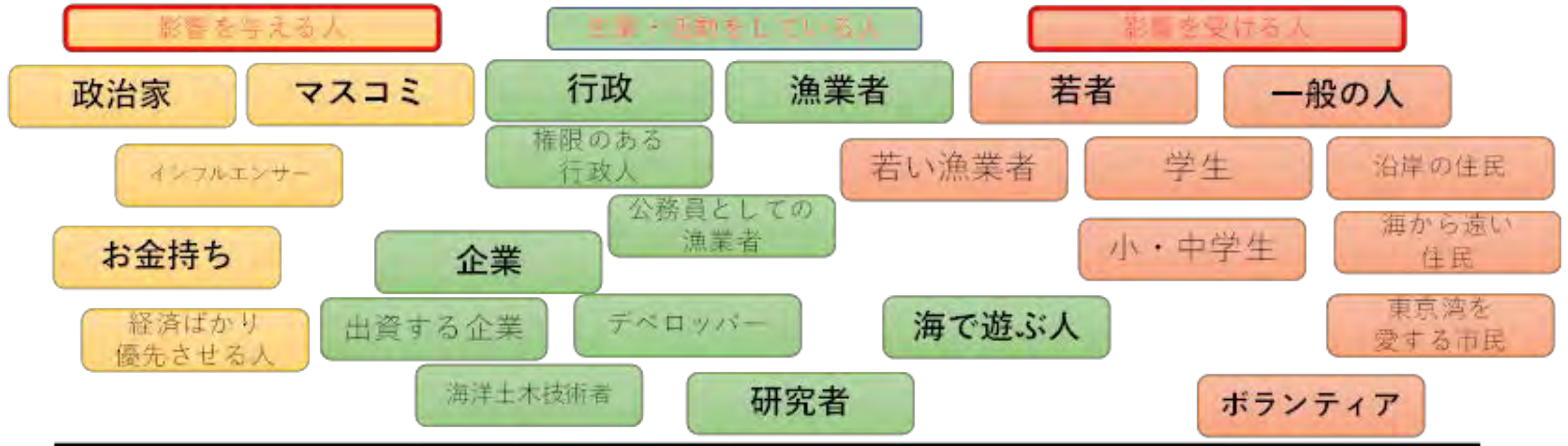
データの充実

目標・ビジョン
の策定

関係者の参画
の機会創出

東京湾再生に向けて「誰が」「何を」すべきであるか！

だれが？



なにを？



江戸前勉強会2021 第4回のふりかえり

昔のプランクトンを知る
 東京川
 豊かな頃の東京湾
 循環型社会（江戸時代）
 浮世絵

地形・歴史
 流域（森・川）
 これからの東京湾
 人口減少
 温暖化、巨大化

歴史探偵
 表現するための新技術
 (VR、DX、デジタルツイン)

活動
 江戸前を食べる
 水産
 アマモ再生
 広報
 遊べる水辺をつくる
 清掃
 港湾・運送
 経済活動
 産業

<東京湾マンダラ>

環境
 発生負荷量
 人口
 人間活動
 流量水量
 高度処理
 植物枯死体
 ゴミ
 成層化
 潮汐、塩分、水深、
 日射、降水量、風
 河岸の護岸形状
 埋立 干潟の砂の運搬
 地形

環境
 有機物
 堆積、ヘドロ、硫化物
 臭い
 赤潮
 濁り
 成層化
 酸素
 青潮
 化学物質
 重金属、有害物質
 生物連鎖
 ベンヌ
 ネクトン
 プランクトン
 ブルーカーボン
 水草、アマモ
 漁獲

生物
 生態系サービスの低下
 マハゼの減少
 シオフキの減少
 ホンビノスの増加
 漁業の衰退
 釣り人
 貧酸素
 干潟・汽水湿地の減少
 コークリート護岸
 川と海の連携の減少
 赤潮・青潮



江戸前勉強会2021 第5回のふりかえり

東京湾の再生のためのつながいの発見！

No.	Room #	何を	誰が	困難	知恵・方法
1	1	うなぎで環境再生	自治体（行政）	市民関心の低下、特別採捕許可	江戸前うなぎシンポ、江戸前うなぎ一斉調査
2	1	生物一斉調査	専門家（博物館など）		
3	2	目指すべき東京湾の姿の描写		目標が定まらない	
4	2	合流式の問題解決・分流式の検討	役所	費用	合流式のままバイブラインもあり？
5	2	上流と沿岸の関係構築			
6	3	情報の共有	持つ人、わかる人、地方公共団体（環境部局、研究所）、国	地域による情報の偏り、養老川、底質のヘドロ、底生生物に高濃度で検出	
7	3	2016年のアサリ減少の継続した結果の共有	研究者	生物調査の結果がまとまっていない、行政のとりまとめやぐがいない（法律や規制に基づいていない）	
8	4	東京湾が抱える新しい課題への取り組み（貧栄養、高水温化、マイクロプラスチック）	一人ひとり		話し合う場、行政と市民だけでなく、漁業者と市民の新しい対話が必要
9	4	生物に表れている変化の認識			話し合う場、行政と市民だけでなく、漁業者と市民の新しい対話が必要
10	5	漁業者のつながり	若者	モチベーション、環境・状況の変化に対する適応、陳情は逆効果も	
11	5	一般の方が漁業者の話聞く場をつくる			
12	5	点在する東京湾関連施設（鳥、歴史施設なども含め）をつないだ情報発信	運営主体の自治体	行政官のつながりが弱い	
13	6	おかずの釣れる釣り施設をつくる	行政	お金がない	
14	6	ヘドロのない海をつくる	企業、個人、民間団体	ヘドロの利活用、廃棄方法、悪臭	ヘドロの知識、利活用価値創出
15	6	海のアミューズメント（TDLのような）創出	大手企業	チームの形成	地域貢献として、民間へのマーケティング
16	6	ヘドロ処理施設としての保護区域創設	行政、企業、研究者	チームの形成、財源の確保	タイでの実例がある
17	7	潮干狩りができる場づくり	みんな、場を管理する人、利用する人、若い人、保育園仲間	活動の制約、アサリが育たない、日常で通えない、入浜権のあり方	駐車場料金のようなシステムで集金、みんなで現場に行く
18	7	行けば遊びが湧いてくるような砂浜	みんな、場を管理する人、利用する人、若い人、保育園仲間	活動の制約、アサリが育たない、日常で通えない	駐車場料金のようなシステムで集金、みんなで現場に行く

Room1

※定期からの水辺運動を受け出した東京湾は、流域からの土砂流入を受けて豊かであり、循環型社会が構築されていたことが、洋型などによってその場がうがいがいられる。その際、人口の増加、緑地、良質の埋め立てを受け、環境が劣化し、水質悪化、貧栄養、高水温化などの問題が生じた。それらは、市民の努力により改善されつつあるが、干潟・汽水生態系の減少などによる生態系への影響は深刻な状態が続いている。その影響は漁業活動や釣り人などにも及んでいるように見える。持続可能な経済活動を推進するとともに、富が安心・安全に活かされるべきである。富が安心・安全に活かされるべきである。江戸前を元々のままに、これからの東京湾を作り出し、その恵みを皆で共有していくことが大切である。



何を	誰が	困難	知恵・方法
うなぎで環境再生	自治体（行政）	市民関心の低下 特別採捕許可	江戸前うなぎシンポ 江戸前うなぎ一斉調査
生物一斉調査	専門家（博物館など）の参加		

江戸前勉強会2021 第6回のふりかえり



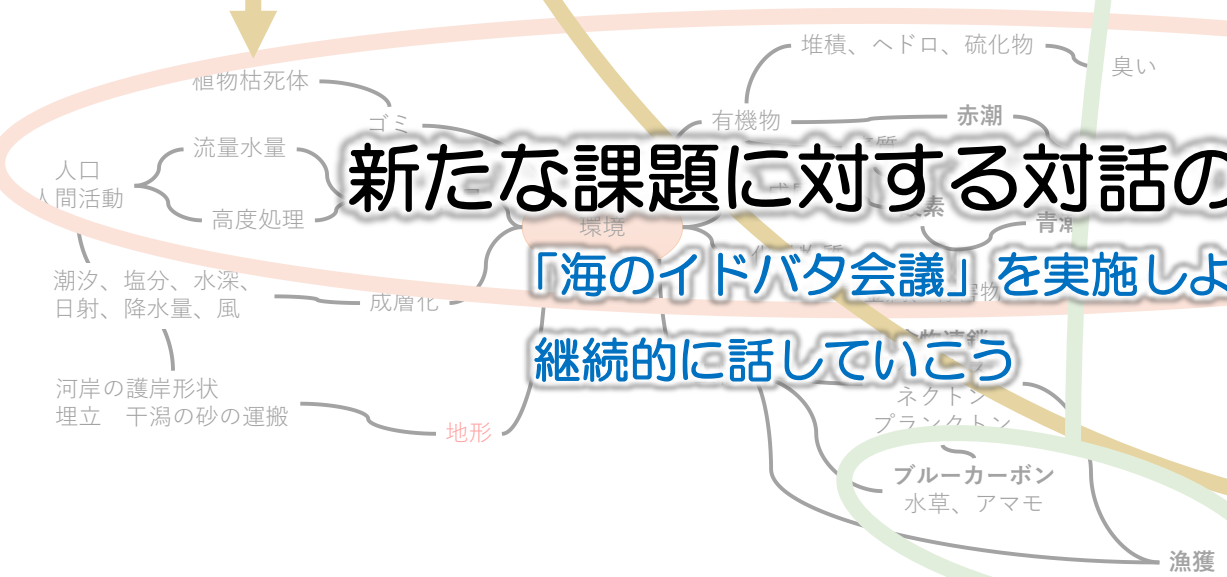
めざすべき東京湾の姿を描こう

ヘドロのない海を目指そう
海辺へのアクセスを確保しよう

新たな課題に対する対話の場をつくらう

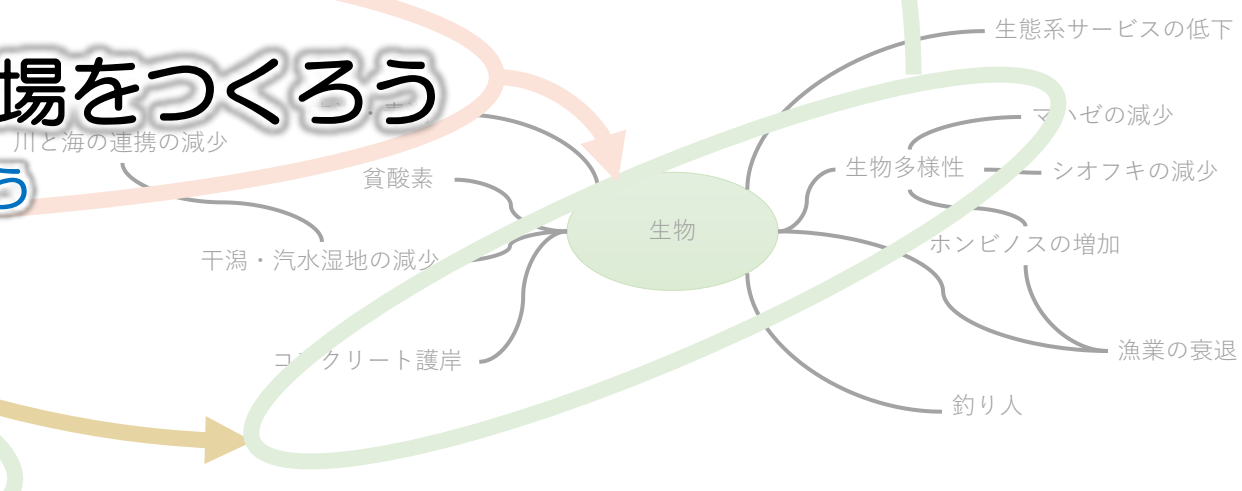
「海のイドバタ会議」を実施しよう

継続的に話していこう

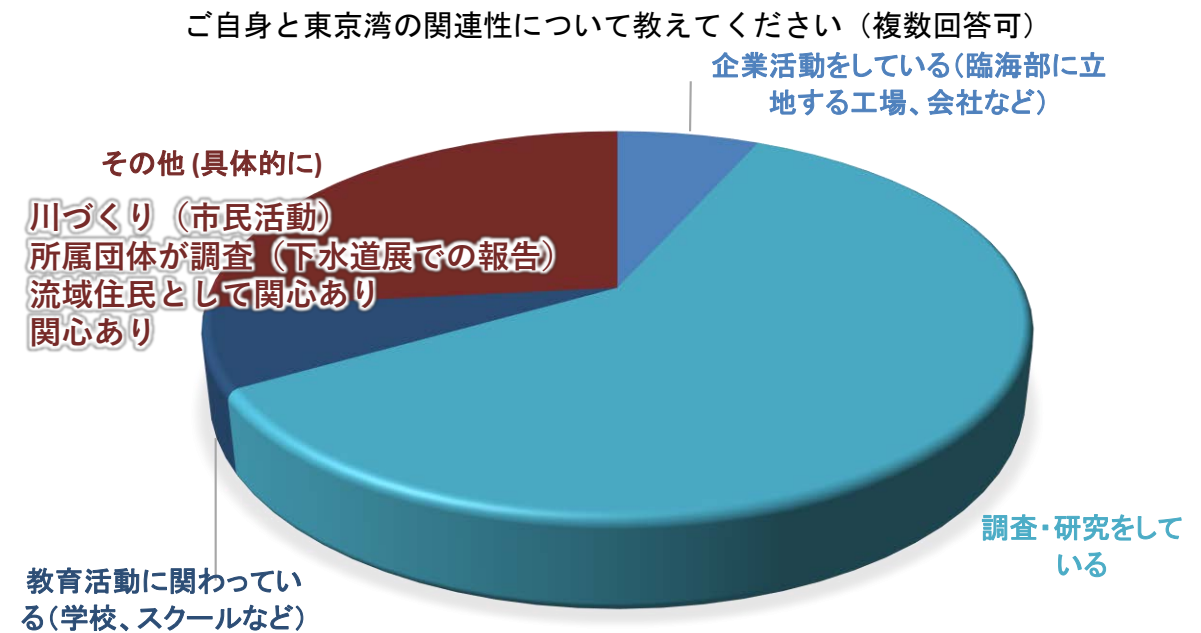
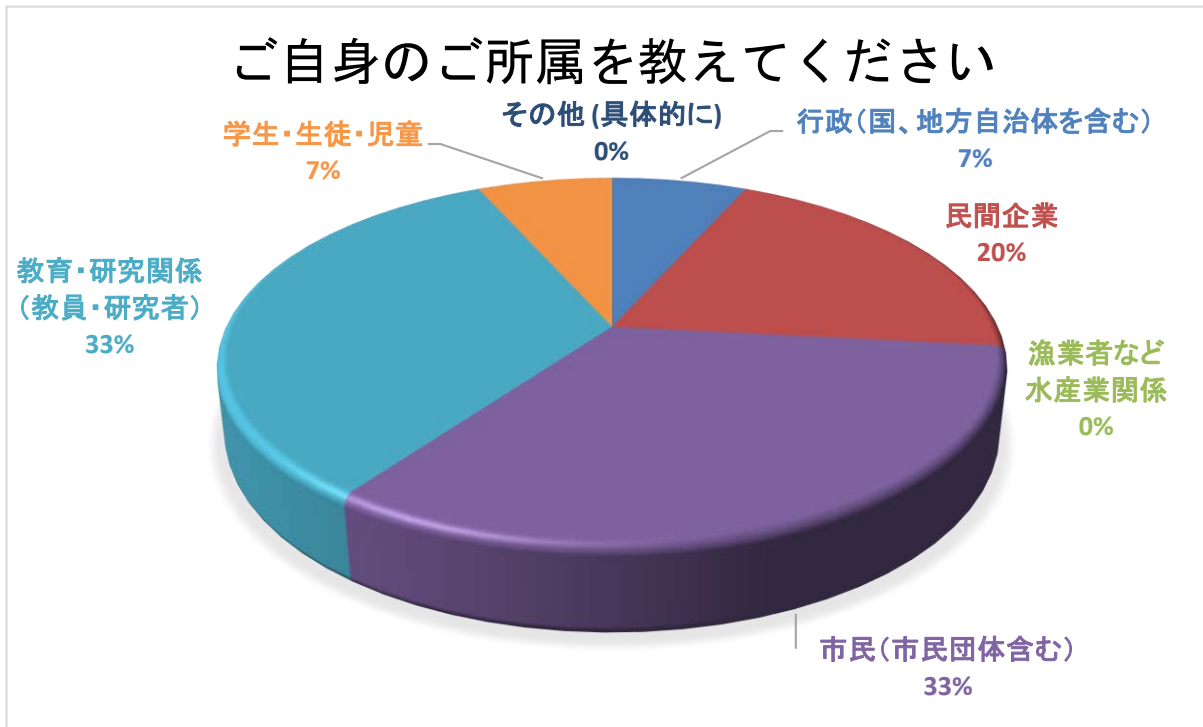


生物データの一元化・体系的な取得をしよう

生き物一斉調査・シンポの実施 (うなぎ調査)



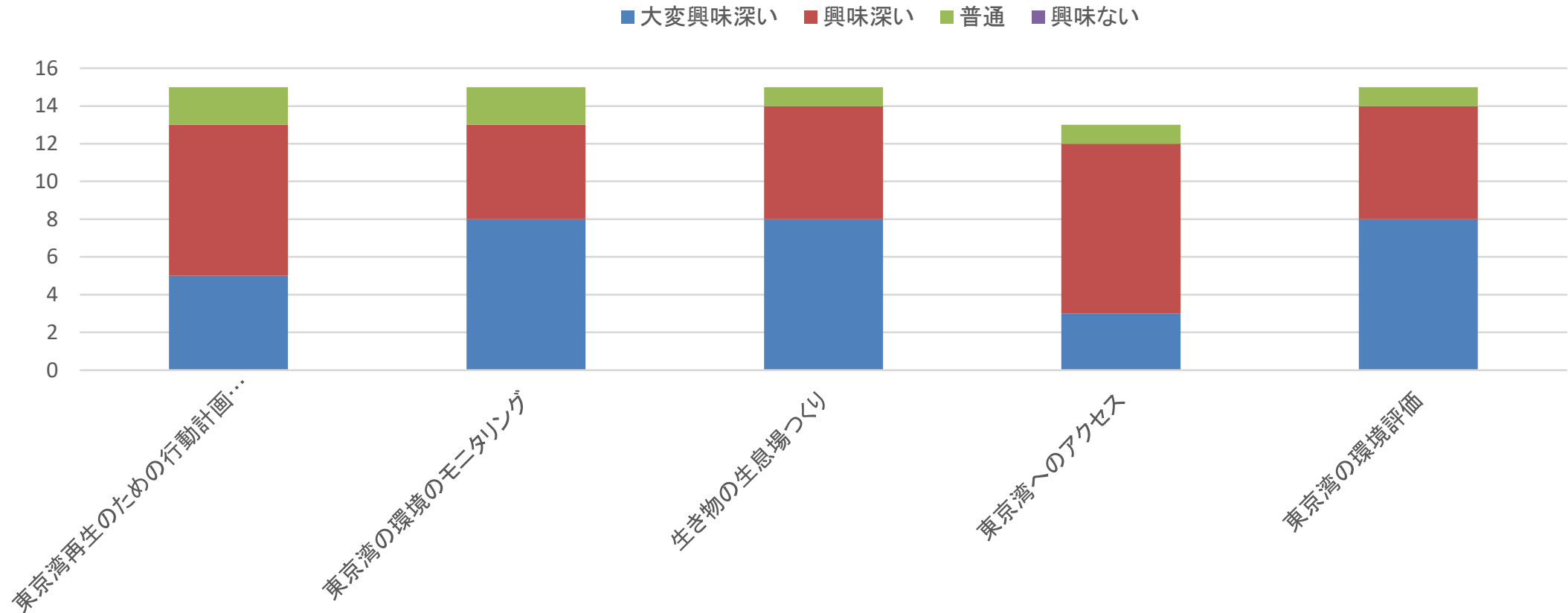
参加者について (2022.11.11現在/事前アンケート分)



江戸前勉強会2022 ねらい

ご興味について

本勉強会で実施予定の講義テーマについて、興味の度合いを教えてください



江戸前勉強会2022 ねらい

- 東京湾再生のための行動計画（第3期）に向けた期待
- みんなが協働し東京湾再生を盛り上げていくためにはどうしたら良いのか

第1回：計画
第4回：アクセス

めざすべき東京湾の姿を描こう

ヘドロのない海を目指そう
海辺へのアクセスを確保しよう

第2回：モニタリング
第3回：生息場づくり

生物データの一元化・ 体系的な取得をしよう

生き物一斉調査・シンポの実施
(うなぎ調査)

第5回：環境評価
第6回：これから

新たな課題に対する対話の場をつくろう

「海のイドバタ会議」を実施しよう
継続的に話していこう